

健康推進課での新規事業の内容と実績&状況

○ブラウンバッグ運動事業

平成29年度にブラウンバッグ運動に供するブラウンバッグを購入し、市内調剤薬局をとおして市民に配布した。処方薬や常用サプリメント等をブラウンバッグで調剤薬局に持参していただき、飲み合わせなど薬剤師に相談することで、お薬の重複や残薬を削減し、医療費適正化を図る。

A4サイズ1種類の購入予定であったが、薬剤師会との調整の結果、A4サイズ4,500枚とB5サイズ4,700枚の2種類を購入した。薬剤師会会員調剤薬局22店舗にA4サイズ150枚B5サイズ200枚ずつ配布し、残りを「こくぶんじまつり」の薬剤師会ブースで配布PRを実施した。

○成人歯科健診 40歳及び60歳個別受診勧奨・パノラマレントゲン事業

20歳以上の市民を対象とする成人歯科健診において、平成28年度から40歳・平成29年度から60歳の市民を抽出し、個別勧奨を実施する。また、歯科医師が必要と判断した場合にパノラマレントゲンを実施している。

平成29年度に個別勧奨を行った60歳の歯科健診受診者数が、前年度の3件から85件に増加した。また、パノラマレントゲンの実施状況は、平成28年度(40歳のみ)29人(男性8人・女性21人)、平成29年度40歳43人(男性12人・女性31人)60歳44人(男性15人・女性29人)です。

○脳ドック検診事業

生活習慣病やその他脳血管疾患等の早期発見及び予防のため、平成30年度から人間ドック検診とは別に、単独で脳ドック検診を実施する。

平成30年6月より事業開始、8月22日時点での申込者数は男性76人女性88人で、合計164人です。

○健康増進情報発信事業(予防接種モバイルサービス)

予防接種モバイルサービスを導入し、登録した市民に対し、個別の予防接種スケジュールを自動計算しメール配信する。また、乳幼児健診や離乳食講習会を始めとする各種講座の案内や母子保健情報、子ども家庭部と連携し子育て情報を配信する。

平成29年10月よりモバイルサービスを開始した。年度末時点での子どもの登録数は230件で、アクセス数は8,896件だった。サービス利用者を拡大するため、周知していく。

○子どものインフルエンザ任意予防接種事業

平成 28 年 10 月から開始した乳幼児インフルエンザ任意予防接種費用助成事業の対象年齢を平成 30 年度は、未就学児から小学校第 3 学年児童まで拡大して実施します。

平成 29 年度は対象者数 6,922 人に対し、接種者数は 5,821 人で接種率は 84.1%だった。ワクチンの供給不足から、10 月から 12 月の接種期間を 1 か月延長し、1 月末まで実施している。

○骨髄移植ドナー支援事業

国分寺市に住民登録があり、公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄・末梢血幹細胞の提供を完了し、それを証明する書類の交付を受けた方及びそのドナー(提供者)が勤務する国内の事業主に対し、一連の提供に要した日数について、助成金は 1 日あたりドナー 20 千円、事業主 10 千円で、10 日間を上限とします。

現時点で申請数 0 件です。

○出産・子育て応援ゆりかご・こくぶんじ事業

専門職が妊婦に対する面談を行い、各家庭における出産または子育ての支援に関する需要を把握して、必要な支援を行うとともに、面談を行った対象者に対して出産または子育ての支援に資する物品を交付する。

平成 29 年 4 月以降に妊娠届を提出した方を対象に、同年 7 月から実施した。

妊娠届出数 1,030 件に対し、面接実施数は 670 人であり面接実施率は 65%だった。妊娠期から子育て期への切れ目のない支援を実現するため、全数面接実施に向けて工夫していく必要がある。

○特定不妊治療費助成事業

子どもを望むご夫婦を対象として、高額の治療費を要する不妊治療にかかる経済的負担を軽減するため、特定不妊治療(体外受精・顕微授精)に要する医療保険が適用されない費用の一部(1 回の治療につき 30 千円)を平成 30 年度から助成します。

7 月末までの申請件数は 17 件です。